

国際交流イベント報告書

短期大学部英語科ベタニア

留学生が来て2ヶ月が経ちました。今年2度目の国際交流イベントは11月9日に開催し短期大学部生9人、留学生7人、合計16の方が参加してくれました。イベントの初めは緊張も見られましたが大成功に終わりました。今回のイベントの流れは大きく3つに分け、「若者言葉クイズ」「日本の昔遊び」「フリーカンパセーション」を行いました。

まず始めに、若者言葉クイズの時間では、「マジ・ウケる・それな」などの今の若い人が使う言葉をクイズにしました。具体的には、例えば若者言葉「ウケる」を大きくパワーポイントに表示をし、その問題となる言葉のすぐ下にいくつかの選択肢を載せます。この「ウケる」の場合だと選択肢を「1.風邪をひく catch a cold 2.面白い Funny」にしました。選択肢の隣には英語で選択肢の意味を書き、留学生のわからない日本語の単語があってもサポートできるように書きました。正解を表示してからその言葉の使い方の説明をしました。その他出題した言葉は「ありよりのなし」など少し意味がわかりにくいものや、「JK」など日本と意味は違うけれども海外で使われるような言葉を入れました。この「JK」という言葉はアメリカでは冗談という意味として使われていて、それと迷わせようと思ったのですが、日本好きな留学生はそこで迷わず、すぐ女子高校生と答えました。留学生が聞いたことのある言葉もあれば、初めて聞く言葉もありとても楽しんでいました。日本の昔遊びをしているときには紹介した若者言葉が飛び交っていました。



日本の昔遊びの時間では、福笑い・おはじき・けん玉・折り紙をしました。福笑いでは顔のパーツが様々な方向に向いていて、それを見た留学生は楽しく笑っていました。おはじきなど留学生が初めて体験をする遊びもあり、説明するのに苦労しましたが、最後には賑やかに楽しく遊ぶことができました。このように、質問や説明をしてコミュニケーションをとり、自然と日本人学生と留学生の間の仲が深まったと感じました。

これからもベタニアの活動を通して、日本人学生と留学生との交流が深まっていくと良いと思います。